

専修学校の留学生支援

-東京観光専門学校の実践-

東京観光専門学校就職情報センター ※留学生チーム 佐藤 良晴

SATO Yoshiharu

東京観光専門学校学務部 ※留学生チーム 永井 竜介

NAGAI Ryusuke

東京観光専門学校事務局入学相談室 ※留学生チーム 宮牟禮 郁美

MIYAMURE Ikumi

本校は2年制の専門学校ですが、入学してくる留学生と我々の付き合いは最低3年間、もしくはそれ以上にも及ぶことがあります。それは、入学前の1年間と入学後2年間、そして日本で就職を果たした後、もしくはどうしても就職を決められなかった学生に対してのサポート期間です。

専門学校は大学などに比べて、年間の留学生入学者数もそれ程多くはないため、留学生へのサポートが濃密になり、職員と学生の距離も身近なものになります。

では、それぞれの期間で具体的にどのような支援を実践しているか期間ごとに紹介します。

【①入学まで～学校選び～】

日本の日本語学校に在籍している留学生の場合、インターネットや進学情報誌、また日本語学校からの紹介で進学先の選択をするのが普通ですが、やはり言葉の問題などで入学までの様々な手続きなど、分かり辛いことが多いというのが現状です。その問題を緩和するため、本校のホームページには問い合わせの多い国（韓国や中国など）の言語ページを開設し、より分かりやすい案内を心がけています。

また、紙やネット媒体だけでは分からない学校の雰囲気などを体験して入学後の自分をイメージできるように、毎月、土日を中心に留学生説明会を開催しています。更には、なかなか学校見学に来ることができない留学生のために日本語学校に本校のスタッフが出勤して体験授業を行うなど、入学前から数多くの交流の場を設けています。

また、日本国外から応募をする留学生に対しても、留学事務所を海外に設置し、学校説明会や個別相談、入学試験の実施などを行っています。

【入学まで～A0入学と入学前授業～】

2008年度より東京都の専門学校で導入されたA0入学制度によって、留学生にとって多くのメリットが生まれました。

通常9月以降に出願を受付けていたものが、6月よりエントリーができるようになり、早くから余裕を持った入学準備が可能になりました。

また、これまで学校を決定してから入学までの期間が半年間だったのが、10カ月間

という長期になり、その期間を利用した入学前授業という制度が誕生しました。

この「入学前授業」は、本校の場合、英語などのコミュニケーションやビジネスマナーなど、入学後、そして日本で就職後も役立つようなカリキュラムが組まれ、グループワークを中心に授業を行っているため日本人学生との交流にも繋がっています。そのため4月の入学式を待たずして多くの友人や同じ業界を目指す仲間ができています。通常、4月の入学式を経て学校や授業などに慣れていかなければならなかったのですが、ただでさえ「日本」という環境に慣れるまでに大変な留学生にとっては、とても有効な期間となっています。

また多くの留学生が望んでいる日本での業界就職を果たすことにも、入学前からの指導によって就職に対する意識付けなどにつながり、留学生の日本企業就職率にも効果が出ているところです。

【入学まで～留学生相談と在留資格の取得～】

留学生にとって日本で学生生活を送る上で不可欠なのが「在留資格」の取得です。現在、日本には様々な状況や在留資格で滞在している外国人がおりますので、各個人に合わせた在留資格取得申請のための指導が重要になってきます。

金銭的にも留学をすることは大きな負担がある中、国からの仕送りだけでは生活ができない学生がほとんどですので、アルバイトをしながら、日本語能力の向上と、将来のための専門分野の学習をしなければなりません。更には、せっかくの日本留学でするので日本人学生との交流や仲間作りも有意義な留学生生活を過ごすためには必要です。そのため、日本人学生に比べてとても忙しいのが留学生であり、その多忙な生活の中で、在留資格の取得や更新の手続きを行わなくてはなりません。

在留資格取得の手続きは書類の準備や申請方法など多岐に渡るため留学生単独での手続きは困難なことがあります。ですので、入学時の在留資格の取得変更手続きは、入学事務局のスタッフが個別指導を行う他、できる限り入学前の負担を軽減させるために、個々の在留期限に合わせた指導を行っています。

さらに、A0入学制度の導入により在留資格の取得に向けた生活指導がこれまでより余裕を持ってできるようになりました。日本語学校の出席や資格外活動状況など、日本語学校の指導下でありながらも、専門学校留学生担当者レベルで、在留資格取得に向けての生活指導を行っております。

また、生活支援の面では学校独自に「留学生特別奨学金制度」を導入し、学費の減免を行っている他、各企業団体の外国人向け奨学金制度に積極的に応募をするなど、留学生の経済的負担をできる限り減らすような取組みをしています。

更に、留学生にとって連帯保証人や家賃の問題でネックになる住まいの賃貸借契約においても、学校側が外国人向け物件を多く持つ学生寮・マンション会社と提携を結んでいるため、安価で安心な物件の紹介や、外国人スタッフによる契約や保証人問題の相談を行っています。



「留学生歓迎会の様子」



【②入学後】

本校は、学科ごとに20名から40名のクラス担任制度をとっています。このクラス分けでは、留学生だからといった特別扱いをせず学科・専攻ごとにクラス分けを実施しています。学科によっては、1クラスの大半を留学生が占めるケースもありますが、総じてクラスの1割程度が留学生といった状況で2年間を過ごします。

学校としての留学生の管理は、学務・広報・就職担当のメンバーからなる留学生チームが主体となって行っており、出席・成績管理をはじめ毎月の留学生ミーティングや留学生懇親会、ビザ手続きのサポート等を行っています。

本校では校内での授業に加え、宿泊研修旅行・球技大会・学園祭・海外研修旅行など日本人学生との交流機会のある校外イベントを多く設け、充実した2年間を送れるような取組みも行っています。

【入学後～新入生オリエンテーション～】

入学式後のオリエンテーション期間に留学生ミーティングを行っています。留学生

名簿の記入から始まり、在学中の校内ルールや卒業単位、ビザなどについて留学生ハンドブックを配付し全員で確認を行います。入学時から卒業後の進路を考え、そのために何をしたら良いかをあらためて自己確認させる機会としています。

また、オリエンテーション期間には学科系統ごとの宿泊研修旅行があります。この研修は学科を超えた友人関係をつくることを目的のひとつとして実施しており、学科や日本人、留学生を問わずチームを組み、チームで協力してゴールを目指すようなゲームを行っています。本年度も300名で宝探しゲームを行い、大いに盛り上がり友好を深めることができました。

この期間には、各担任による個人面談も行っています。日本人学生と同様にまずは人物把握を目的としていますが、留学生には特に出席・授業の大切さや日本での生活等を指導しています。困ったことがあれば各担任に連絡するよう伝えており、メールや電話での相談は深夜になることもあります。

個人面談は在学中の2年間に定期的に行っており、進路を決める時期には特に時間をかけて行っています。日本での就職や帰国・進学など、留学生の進路決定には様々な要因があり、自分の選択した進路に留学生が満足できるよう心がけています。

【入学後～専門学校での授業～】

授業に関しては、留学生に対しての特別な措置はとっていません。講師の話すスピードや板書については日本人学生を対象としたレベルにしており、授業開始当初は「授業についていくのが大変。」という声も聞かれますが、2週間程度でほぼ理解できるようになっています。また、留学生用にプリントにルビをふったり追加資料を配付したりといったフォローは各講師で工夫して行っています。

日本語授業については、週1コマの選択科目「日本語」を開講しています。1年間かけて日本語能力のレベルアップを目指す授業で、全学科の留学生を対象とした授業です。日本での就職を目指す留学生には日本語能力検定N1の取得を勧めており、多くの留学生が受講しています。

【入学後～各学科での取組み～】

本校は、観光・サービス業界への人材の輩出をめざした10学科32専攻を設置しております。その中でも留学生の在籍者の多い、通訳ガイド学科と旅行学科での取組みを紹介します。

通訳ガイド学科は、国家資格である“通訳案内士”の合格を目標とし、卒業後は日本の旅行業界への就職を目指しています。在籍する学生の9割が留学生という、本校で最も留学生の多い学科です。ここでは日本語能力試験N1取得とビジネスレベルの日本語の習得をめざし、日本語教育に重点を置いています。入学から2年間週2コマの授業を行い、レベルアップを目指しています。

また、通訳・翻訳の授業では、中国、韓国の講師が母国語と日本語を使い留学生に分かりやすいよう授業を行っており、学校以外のことでも良き相談者となっています。留学生がほとんどの学科のため日本人学生との交流が少なくならないよう、他学科との合同授業や合同研修旅行を実施しています。

旅行学科には、例年日本人学生数の約1割程度の留学生在旅行会社への就職を目指し入学してきます。前段でも述べましたが、授業の進め方については特別な対応はしていませんので、授業内小テストや課題の提出状況をみて留学生の理解度をチェックしフォローをしています。

旅行学科のカリキュラムにはグループワークを中心としたゼミ活動や研修旅行があり、日本人と留学生が親しくなれる環境が整っており多くの留学生在日本人学生と充実した学生生活を送っています。

また旅行会社への就職を目指し、多くの授業を就職対策やビジネスマナーの学習に費やしているのも学科の特徴となっており、1年次には旅行会社でのインターンシップも実施しています。留学生もインターンシップに参加をするため、入学当初から履歴書の書き方や面接練習、会社でのルールやマナーなどを勉強します。旅行会社でのインターンシップは約1カ月間行い、留学生にとって日本の旅行会社で働く貴重な体験となり、就職活動への大きなモチベーションとなっています。



「研修旅行」：ツアーコンダクターとして2年生の留学生在案内

【③進路】

本校では1年次から就職に特化した授業カリキュラムを組み学生に指導しています。留学生においても日本での就職を希望する学生には、日本人と同じ内容とクラスで授業を行っています。

留学生を特別扱いすることなく早い時期からの就職に対する意識付けをさせることで、就職することの意義、社会人として働くこととは何かを自然と考えることができる環境になっています。

昨今の経済事情において日本人学生でも内定を得るのが難しいと言われている中で、留学生というハンデを背負いこの就職難を乗り切るための指導を行っています。

下記に記載した就職対策の授業内容は、本校の日本人学生と留学生に実際に行わせているものであり、留学生だからという垣根は一切ないものです。

【進路～就職対策 授業内容～】

筆記試験対策：

一般常識試験 国語・数学・社会・時事・英語などの一般常識筆記試験対策。

なぜ採用試験において企業は筆記試験を行うのかなど、その重要性を認識させ繰り返し問題に取り組んでいます。

S P I 2 近年各企業において多く用いられている適性試験を実際に経験し本番においても動じないように慣れさせるためのもので、言語・非言語といった問題を早期から取組ませることにより、問題に慣れさせ本場において力が発揮できるようにしています。

ビジネスマナー：

社会人になるにあたり必要最低限のマナー習得のための授業です。

日本語の正しい使い方（敬語などの使い方）、挨拶・お辞儀の仕方、電話対応の仕方、手紙・封書の書き方、社外・社内文書の書き方などがあります。

就職対策：

履歴書・エントリーシートの書き方に始まり、自己PR・志望動機などの書き方の指導を行っています。

自己分析から始まり自分自身を知ることによって自身のPRにつなげることができます。

さまざまな企業を調べることにより自分にあった企業選びが可能です。特に志望動機においては志望する企業を早くから挙げさせ、企業研究を進めることで、受験企業への明確な意識付けを行っています。

面接対策：

就職試験においてもっとも重要な面接の対策です。早期からの練習で面接に慣れ、自分自身をしっかりと語れるようにさせるのと同時に、企業研究をかさね、どうしてその業界であり、その企業なのかを明確にさせます。

グループディスカッション対策にも時間を割き、その目的・進行の仕方・企業側はどこを重視しているのかなど具体的に指導しています。

インターンシップ：

本校では1年次にすべての学科において1～3カ月のインターンシップを経験させることにより、自分が進もうとしている業界を理解させ、就職してからのミスマッチを防ぎ、長期にわたって勤続できる学生を育てることにより社会に貢献できる学生の育成に心がけています。

スキルアップ：

1年次終了時に就職に特化した特別授業を行います。

筆記試験対策から面接対策へ続く、1年間の就職対策の授業の集大成として位置付け取組ませています。

このような就職対策の授業を通して、留学生には日本で就職するメリット、デメリットをできるだけ分かりやすく説明し理解させています。また、就職支援の一環として留学生との面談にも時間を割き細かな指導を心がけることによって、留学生の就職への道が開けています。

更には、卒業時までには就職が決まらなかった留学生に対しても積極的に就職指導を行い、卒業後に内定を勝ち得る留学生もいます。

このように本校在学2年間のみならず、在学前後期間のサポートも充実させることによって、多くの留学生が日本での業界就職を果たしています。



「会社説明会や就職対策の様子」

